



胆江地区衛生センターでは

ごみの減量化に

挑戦しています！

ごみの3Rに挑戦しよう！

R Reduce
ごみを減らそう



ごみになるものを**発生**させない！
例) マイバックの使用、食品の使い切り

R Reuse
繰り返し使おう



ものを**繰り返し**使おう！
例) リサイクルショップの利用、
レンタル・リース品の利用

R Recycle
資源として再利用



それでも出てしまった
ごみは**再資源化**
例) ごみの分別、回収

一番大事なことは、ごみになるものを発生させないこと。
ごみ対策というと、リサイクルを思い浮かべがちですが、リサイクルをするにもエネルギーを使います。まずはごみになるものを出さないように気を付けることが大事です！！

**実践
3R**

こんなことからエコ活動！

- ① 買い物に行く前に冷蔵庫をチェックしましょう。
- ② 買い物リストを作ってから買い物に出かけましょう。
- ③ 出かける前におやつを食べてから出かけましょう。← 意外と大事



胆江地区衛生センターがごみの減量化に挑戦する
衝撃の理由が明らかに!!(次ページへGO!)

胆江地区衛生センターごみ焼却施設の

長寿命化工事 が 始まります！

胆江地区衛生センターごみ焼却施設は、平成6年の竣工から23年が経過し、施設の老朽化が進んだため、大規模な設備機器の更新工事を行うことになりました。

工事は、通常どおりごみを受け入れながら行う予定ですが、ごみを燃やすことのできない期間（休炉期間）が生じます。



工事期間中の休炉期間

- 第1期 平成30年2月（最大10日間）
- 第2期 平成31年2月（最大30日間）
- 第3期 平成32年9月（最大10日間）

この期間のごみ処理として、ごみピットでの貯留の他に、資源物の分別や処理の外部委託を検討しております。

第2期のごみを燃やすことのできない期間では、現在のごみピット（ごみを貯める部屋）だけでは受け入れきれないため、他施設への処理依頼等とともに、ごみの減量化が必要になります。

しかし、大切なことは、限りある資源を大切にし、工事期間中だけでなくこれからもずっと継続してごみの減量に努めることです！

ごみの減量を通じて、ものを大切にするところや環境を大切にするところを広げていきましょう！

ごみの減量化! → **ものを大切に
するところ** → **環境に
やさしい生活**

工事期間中の受け入れごみ減少のため、環境にやさしい生活の実現のため、

1人1日20グラムのごみ減量にご協力をお願いいたします!!!

※工事に伴う休炉期間中のごみ処理必要量を基準にした目標値



レジ袋
10グラム



白色トレイ
5グラム



牛乳パック
30グラム



ペットボトル(500ml)
30グラム

奥州金ヶ崎行政事務組合 長寿命化事業推進室 ☎0197-24-5821